

国際英語学研究科【学位授与の方針】

国際英語学研究科は、定められた課程を修め、以下の要件を満たした者に対して学位を授与する。

<学修成果(教育目標)>

国際英語学研究科は、本研究科の教育研究上の目的に基づき、定められた課程を修め、研究指導を受けた上で修士論文（※）を作成提出し、その審査および最終試験に合格した者に対して修士（国際英語学）または修士（英米文化学）を授与する。

〔修士課程〕 国際英語学専攻

1. 国際英語学全般にわたる広く深い知識を有していること。
2. 情報処理能力とコミュニケーション能力を身につけ英語を用いて専門的議論ができること。
3. 習得した知識と技能を用いて、専門的職業人としての能力を身につけていること。
4. 職業人または研究者としての高い自覚と倫理意識を持ち社会に貢献できること。

〔修士課程〕 英米文化学専攻

1. 英語圏の言語文化に関する広く深い学識を持ち、現代の社会において多様な文化が抱える諸問題を学術的側面から理解するべく多面的に取り組み、社会的な要請に応えるために自ら考え、表現する力があること。
2. 研究者もしくは職業人としての高い自覚と倫理意識を持ち、自身の言動や価値観を批判的に内省し、自身の責任と判断に基づいて行動できること。
3. 身につけた知識と技術とを駆使して、社会に貢献できる専門的実務者としての能力を獲得していること。
4. 各種情報処理能力及び高度なメディア・リテラシーを身につけ、専門的議論を英語で行い、またそれを英語で整理・要約し発信することができる。
5. 自身の問題意識に基づき、英米の文化・歴史・政治・社会の諸分野について広範な知識を持ち、かつその分野について批判的な視点から論理的に論じることができる。

※修士論文の審査基準は以下の通りとする。

国際英語学専攻・英米文化学専攻共通

(1) 当該分野と研究課題についての学識

先行研究と関連した、独自の明確に定義された研究課題について組織されているか。
また適切な概念や項目を包含し、研究分野に関連した手法で研究がなされているか。

(2) 学識の適用

取り扱う項目についての概念や意見を適切に適用しているか。批評的態度を以て一

次・二次資料を扱っているか。資料を意図した形で利用し、論理的で一貫した議論を展開しているか。

(3) 構成と書式

人文学及び社会科学の一般的な学術論文の書式に則っているか。研究の領域と目的を明確に提示した序章、先行研究文献の批評的評価、研究テーマに沿った主張を支持する、二章以上の批評的論考、及び全体を統括する結論が整っているか。

(4) 文章表現

用いられている文章表現は、学術的な述語の使用域に相応しいか。また文法的、語法的な誤りを避ける努力をしているか。

(5) 論文指導

指導教員の監督指導に基づいて論文を完成させたか。その際に適切に論文原稿を指導教員に提出し、修正改訂を行ったか。

(6) 剽窃について

修士論文では剽窃を行ってはならない。指導教員に提出された論文に剽窃が含まれる場合には、譴責の上再執筆が要求される。完成し提出された修士論文に剽窃が認められた場合には、成績評定は不可となる。剽窃の定義については以下を参考のこと。

「他人の業績であることを断らないで、他人の考えや情報、表現を自分の書いたものの中に使うのは知的盗用【剽窃】である。…盗用【剽窃】は、実際には他人のものについて、自分で書いたり考えたりしたような印象を与えることである。…盗用【剽窃】の形式には、次の場合に適切な断り書きを添えないことも含まれる。すなわち、他人の文言を再言したり言い換えたりする場合、他人の議論を言い換えるか他人の思考の流れを述べる場合、である」（ジョゼフ・ジバルディ、『MLA 英語論文の手引き』第6版より）

付記

「修士課程1年次終了時に、同学年で取得した単位の評定平均値（GPA）が2点以下の学生については、研究指導教員、所属の専攻主任及び研究科長による学修指導を行う。」